



にちようび しゆくじつ どれいしよゆうしや かい  
日曜日や祝日に、奴隷所有者からキルトづくりの会  
をひらいていいと許しが出ると、女たちは丸太小屋  
てんじょう おお き わく  
の天井から大きな木の枠をおろします。

すばしっこいハリエツがその下にもぐりこむと、  
はり ぎん  
針が銀のトンボのようにすいすいと、ぬの で  
布を出たり  
はい み  
入ったりするのが見えます。

「いつかわたしも、キルトで魔法の世界をつくろう」  
とハリエツはおもいます。

奴隷はふつう、女主人の命令に  
したがって針仕事をします。け  
れどもキルトづくりの会では、  
ぬの  
布の切れはしをつかって、思い  
思いにつくることができまし  
た。明るい時間に自由な気分を  
味わえる、キルトづくりの会は  
奴隷の女性たちにとって大切な  
ひとときでした。

Barbara  
Bach  
1911